


## 地域貢献活動支援報告書

社会連携研究センター長 殿

所 属 医学部附属病院中央放射線部  
氏 名 永澤直樹

活動テーマ	乳がんマンモグラフィ検診における未受診者への検診啓発活動
実施期間	平成 24 年 4 月 1 日 ~ 平成 25 年 3 月 31 日
活動内容	<p>乳がんは40歳以上の女性がかかる癌の第1位であり、日本人女性の20人に1人が罹患するがんであります。しかしこのがんは早期発見を行うことで完全治癒ができます。早期発見にはマンモグラフィによる乳がん検診が有効であり、厚生労働省も検診受診率50%を目指しています。そこで、三重大学病院を筆頭に県内の医療機関の有志が集まり、NPO三重乳がん検診ネットワークが設立され、乳がん検診受診率向上のための啓発活動や、自身の技術の向上のための講習会を開催しています。</p> <p>主な活動報告：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三重大学の永澤らが開発した、県内の医療機関をネットワークで結び、乳がん検診結果を一括管理する事が出来るシステムを用いて、県内どの医療機関で検診を受診しても過去の結果を加味した検診を受けることができるような環境を作っています。現在10万名以上の県民の方が利用しています。</li> <li>・県民・市民の方への啓発活動として、津市で毎年行われている「津まつり」や、同じく四日市市で毎年行われている「がん検診アクションプロジェクト」に参加してブースを設置し、健康相談や自己触診の指導等を行いました。</li> <li>・県内17医療機関にて県内一斉乳がん検診無料体験イベントを行い、233名が受診され、啓発効果はもちろん実際に早期乳癌を発見することもできました。</li> <li>・伊賀の女子サッカーチーム「FCくノ一」と乳がん検診受診率向上のための協定を結び、共同で啓発活動を行っています。</li> </ul> 

	<p>本活動はこのNPO三重乳がん検診ネットワークと共に、乳がんマンモグラフィ検診の受診率の向上を目指し、また、検診結果共有システムを普及させ、高精度な医療を提供するものあります。</p>
--	--